







先宮 熊野神社由緒

当神社は、「くまのさん」と呼ばれたり、年輩の方々からは「先ノ宮」と呼ばれたりして親しまれています。

御祭神は、伊弉册命、速玉男命、事解男命をお祭りしております。

創立年月は不詳ですが、興国三年（一三四二年）後醍醐天皇（第九十六代天皇）の皇子、宗良親王が御父君の尊像を自ら刻まれて御本殿に安置され、ご冥福を祈願されたという言い伝えがあることや、前田利長藩主より高岡城築城の際、鬼門除の守護神として尊信深かったという古文書の奉納があるなど、由緒ある古社であります。

神社本殿は神明造神葺。現在の拝殿は嘉永三年（一八五一年）に再建されたものであり、権現造木造瓦葺。その後、昭和二十六年修葺、昭和五十五年外拝殿、五十六年神輿殿、平成二年手水舎、平成四年参道の整備、平成二十二年神輿の大修理、駐車場を整備等を行ってきました。

高岡市北部三十四か町の産土の神として今日に至っています。





















贈 二塚利正
平成三年八月新語

製作者
武部 豊

目次	1
新語	2
新語の解説	3
新語の由来	4
新語の用法	5
新語の例	6
新語の語源	7
新語の語義	8
新語の語類	9
新語の語法	10
新語の語用	11
新語の語理	12
新語の語感	13
新語の語趣	14
新語の語情	15
新語の語意	16
新語の語味	17
新語の語色	18
新語の語香	19
新語の語韻	20
新語の語律	21
新語の語調	22
新語の語勢	23
新語の語力	24
新語の語氣	25
新語の語情	26
新語の語意	27
新語の語味	28
新語の語色	29
新語の語香	30
新語の語韻	31
新語の語律	32
新語の語調	33
新語の語勢	34
新語の語力	35
新語の語氣	36
新語の語情	37
新語の語意	38
新語の語味	39
新語の語色	40
新語の語香	41
新語の語韻	42
新語の語律	43
新語の語調	44
新語の語勢	45
新語の語力	46
新語の語氣	47
新語の語情	48
新語の語意	49
新語の語味	50
新語の語色	51
新語の語香	52
新語の語韻	53
新語の語律	54
新語の語調	55
新語の語勢	56
新語の語力	57
新語の語氣	58
新語の語情	59
新語の語意	60
新語の語味	61
新語の語色	62
新語の語香	63
新語の語韻	64
新語の語律	65
新語の語調	66
新語の語勢	67
新語の語力	68
新語の語氣	69
新語の語情	70
新語の語意	71
新語の語味	72
新語の語色	73
新語の語香	74
新語の語韻	75
新語の語律	76
新語の語調	77
新語の語勢	78
新語の語力	79
新語の語氣	80
新語の語情	81
新語の語意	82
新語の語味	83
新語の語色	84
新語の語香	85
新語の語韻	86
新語の語律	87
新語の語調	88
新語の語勢	89
新語の語力	90
新語の語氣	91
新語の語情	92
新語の語意	93
新語の語味	94
新語の語色	95
新語の語香	96
新語の語韻	97
新語の語律	98
新語の語調	99
新語の語勢	100



昭和三十一年八月新調
二塚利正

昭和三十一年八月
越中不井原 共調
今井原 井原
作製



































































































